

カンボジア通信

カンボジア教育支援基金 (KEAF-Japan) 会報

2016年 12月

81号



〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5

JICA地球ひろば気付

カンボジア教育支援基金事務局

info@keaf-japan.com

http://keaf-japan.com

《総会報告》

財政縮小で奨学生枠を削減

支援広げるにはネットPR

高齢者の“手習い”に挑戦

カンボジア教育支援基金 (KEAF-Japan) は 10 月 30 日 (日) 午後、東京・新宿の東京ボランティア・市民活動センターで第 18 回総会・理事会合同会議を開き、事務局提出の 16 年度 (2015.9~2016.8) の活動報告と財政報告、および 2017 年度 (2016.9~2017.8) 活動計画と予算を承認しました。

総会には理事会、事務局、会員、支援者グループから委任出席 38 人を含めて 63 人が出席しました。議論が集中したのは、新しい会員や支持者を広げるために私たち高齢者が不得意なネット活用に取り組もうということでした。この問題に絞って報告します。財政報告は 3 頁、予算は 4 頁に掲載しました。

「高齢化」と「円安」

KEAF-Japan が今の組織を整えて活動を開始したのは 2007 年夏。この 17 年度で 10 年目にはいりました。「1 人でも多くの子どもに教育の機会を」をモットーにカンボジア農村の子どもたちへの教育支援を少しずつ拡充してきたのですが、会報を通してお知らせしてきた通り、2014 年に入ったあたりから支援プログラムを縮小せざるを得なくなっています。

その理由は KEAF の高齢化という大きな背景による漸進的な財政規模の縮小に加えて、不明なことに全く想定しなかったアベノミクスによる急速な円

安でドル建ての奨学金支出が 50%増になったとがあります。

このために 15 年度から奨学生 (高校生、教員養成所学生、大学生) の枠を凍結し、16 年度は新規大学生を 1 人に絞って全体を 5 人とし、年額 500 ドルを 400 ドルに削減せざるを得ませんでした。17 年度 (6 月面接で決定) の高校奨学生は 15-16 年度から 30 人減らして 145 人にしました。

「サッカー教室」レポート作成

こうした状況を食い止めて支援を継続し、さらに拡大していくには、広く若い世代に支援者を増やす

ことしかありません。出席者の中で唯一の若者で、ホームページ再開を担ってくれる小泉裕之さんが真っ先にこう発言しました。「会報には KEAF の素晴らしい活動が載っている。あれを広く知ってもらえれば支援者が増えると思う。それにはホームページをもっと活用し、さらにフェイスブックやツイッターも使って KEAF の活動を



もっと広く PR しましょう」。

「エェー、それって、どうすればいいの・・・」が最初の反応でしたが、小泉さんの手助けで「老いの手習い」を始めることになりました。手始めに年末に予定している「サッカー教室」のネット PR 用の写真レポートを作成することにしました。

KEAF シニアツアー募集中

カンボジア・ベトナム 8 日間の旅

2017 年 1 月 16 日 - 23 日

申し込みは最後 8 頁をご覧ください→

支援高校が統一試験で好成績

トップ A が 4 人、B は 47 人も
前期の奨学金を届けました

17 年度奨学金の前期分は岡宮さんと久保田さんが 10 月 4 日出発、9 日帰国の日程で現地に行き、届けてきました。この訪問で嬉しい話がいくつかありました。初めは支援している 4 つの高等学校が 16 年度の高卒・大学進学資格試験で揃っていい成績を上げたことです。

成績は A,B,C,D,E が合格で、A は普通は州全体で 1 桁しかないそうですが、コンポントゥラバイ、プレアンドゥン両校で 2 人ずつの 4 人も出たのです。州都にあるプレアンドゥン高校に併設のような形で貧困家庭の子女のための特別高校があって、KEAF は間接的に支援しているのですが、ここからは A が 4 人、40 人の生徒が全員合格だったとのこと。この学校は中国、韓国、インドが支援しているそうです。

KEAF 奨学生 が中国留学

4 校を合わせると B は 47 人もいました。プロモルプロムには A はいないのですが、B が 3 人でいづれも KEAF の奨学生でした。KEAF 奨学生は各校で合格しているそうです。

プロモルプロム高校の 3 人の B のうち 2 人は中国の大学に留学することが決まると、校長先生は嬉しそうでした。中国は今年は全国から 120 人の奨学生を受け入れる計画と聞きました。

中国はカンボジアの経済、政治に影響力を強めてい

ますが、学校教育にも力を入れ始めていることがわかりました。日本はどうしているのかなと気になります。KEAF の奨学金で学んでいい成績を収めた生徒が中国に取られるというのも納得しがたいですね。

州都プレイヴェンにあるアスペカ養護施設に教材や学用品を持って行ったところ、州教育委員会からの KEAF 宛の額入り感謝状を手渡されました。ありがたく頂戴しました。



凸凹道は バイクタクシー

プロモルプロム高校からさらに 7-8 キロのバンティチャクライ中学と、そこからまた 4 キロのソンポーン小学校に教材や学用品を届けました。その先 4 キロのプレイトープ小・中学校への道路は雨季にでこぼこにされ、ソンポーン小学校の

校長先生や近所の若者のバイクタクシーでの往復となりました。

最近道路も大分よくなり、乾季には車で行ける



ようになっていたのですが、雨季の雨量が多いこうなります。国道 1 号線から 6-7 キロ入るプラテアート中学への道も車はだめでした。案内のソワンさんが携帯電話で連絡を取り、バイク通勤の 2 人の先生に国道の入り口まで出てきてもらい、奨学金を託しました。

(写真) 上は岡宮さんから奨学金を受け取る教員養成所奨学生。カンボジアでは両手を合わせて挨拶します。下はベトナムとの国境の川。対岸がベトナムです。ソンポーン小学校から南へ 10 キロ。地元民は短期ならビザなしで出入りしています。

カンボジア教育支援基金 (KEAFJAPAN)

2016年度 収支決算報告書
(自 2015年9月1日 至 2016年8月31日)

(円)

収 入			支 出		
科目	決算	予算	科目	決算	予算
I. 一般支援活動	1,373,535	1,151,000	I. 一般支援活動	982,614	1,098,195
年会費	312,000	401,000	教材支援	176,693	259,195
寄付カンパ*(注)	1,134,700	750,000	支援活動費	487,539	515,000
*(注) 教育支援活動へ	△ 76,673		事務局運営費	315,966	324,000
雑収入	3,500		為替差損	2,416	
受取利息	8				
II. KEAF奨学金	1,374,000	270,000	II. KEAF奨学金	1,061,398	1,146,001
奨学金	1,374,000	270,000	高校生(@\$50×164人) \$8200	977,604	1,048,401
			教員養成(@\$100×7人) \$700	83,794	97,600
					0
小計(I+II)	2,747,535	1,421,000	小計(I+II)	2,044,012	2,244,196
III. 楓大学奨学資金	0	0	III. 楓大学奨学資金拠出	223,420	183,930
			大学生(@ \$400×5人)	223,420	183,930
			\$2000		
IV. 教育支援	223,502	0	IV. 教育支援	223,502	0
サッカー教室カンパ	146,829		サッカー教室	223,502	0
*(注) カンパより	76,673				
収入合計	2,971,037	1,421,000	支出合計	2,490,934	2,428,126

収入-支出

480,103

2016年度 活動基金増減表 (自 2015年9月1日 至2016年8月31日)

(円)

	I 一般支援活動	II KEAF奨学金	III 楓大学生奨学金	IV 教育支援活動	合計
前期繰越高	(52,805)	1,674,444	415,391	0	2,037,030
当期収入	1,373,535	1,374,000	0	223,502	2,971,037
当期支出	(982,614)	(1,061,398)	(223,420)	(223,502)	(2,490,934)
次期繰越高	338,116	1,987,046	191,971	0	2,517,133

現金・預金

2016年8月31日現在

小口現金		52,952
小口現金外貨 @Y100	\$235.00	24,247
普通預金		131,526
郵便振替口座		2,308,408
合 計		2,517,133

2016年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する2016年度の収支を活動計画に基づき監査した結果、適正である事を認めます。

監 事

山 田 伸 代



カンボジア教育支援基金 (KEAFJAPAN)
 2017年度 予算
 (自 2016年9月1日 至 2017年8月31日)

(円)

収 入		支 出	
科目	予算	科目	予算
I. 一般支援活動	1,001,000	I. 一般支援活動	970,000
年会費	312,000	教材支援	150,000
寄付カンパ	765,000	支援活動費	490,000
*IV.教育支援へ充当	△ 76,000	事務局運営費	330,000
II. KEAF奨学金	200,000	II. KEAF奨学金	867,000
奨学金	200,000	高校生(@\$50×145人) \$7250	790,000
		教員養成(@\$100×7人) \$700	77,000
小計 (I + II)	1,201,000	小計 (I + II)	1,837,000
III. 楓大学奨学資金	0	III. 楓大学奨学資金拠出	184,000
		大学生(@\$400×4人) \$1600	184,000
IV. 教育支援	223,000	IV. 教育支援活動	223,000
サッカー教室支援(外部)	147,000	サッカー教室	223,000
*一般支援より充当	76,000		
収入合計	1,424,000	支出合計	2,244,000

収入-支出 (820,000)

2017年度 活動基金増減表
 (自 2016年9月1日 至2017年8月31日)

(円)

	I 一般支援活動	II. KEAF奨学金	III. 楓大学奨学金	IV. 教育支援活動	合計
前期繰越高	338,116	1,987,046	191,971	0	2,517,133
当期収入	1,077,000	200,000	0	147,000	1,424,000
他活動へ(から)充当	(76,000)	0	0	76,000	0
当期支出	(970,000)	(867,000)	(184,000)	(223,000)	(2,244,000)
次期繰越高	369,116	1,320,046	7,971	0	1,697,133

ありがとうございました (2016年8月31日～11月27日)

年会費、寄付金、奨学金を振り込みくださった方々に心からお礼申し上げます（敬称略させていただきます）

(東京)	(神奈川)	(千葉)	(千葉)	(千葉)	(東京)
(東京)	(東京)	(東京)	(東京)	(東京)	(東京)
(神奈川)	(東京)	(神奈川)	(東京)	(京都)	(神奈川)
(神奈川)	(奈良)	(東京)	(京都)	(福島)	(東京)
(東京)	(神奈川)	(東京)	(東京)	(神奈川)	(東京)
(神奈川)	(東京)	(東京)	(東京)	(東京)	(ドイツ)
	(埼玉)				

※お名前は個人情報なので伏せて掲載しています

※写真つき奨学生紹介の5、6、7頁は個人情報保護のため省略

◇物品の支援ありがとうございました

☆ (東京) : トートバッグ 4 点、☆ (東京) : ファイル用バッグ 10 点、☆ (東京) : Tシャツ 1,000 着、☆ (神奈川) : ハンドバッグ、トートバッグなど 10 点。

.....

《カンボジア・ベトナム 8 日間の旅》

2017年1月16日(月)～23日(月)

KEAF シニアツアーに参加しませんか

締切は 12 月 15 日(木)に迫っています。

申込み先: 日通旅行団体営業一課

03-6256-0171 Fax 6212-1521

KEAF 03-3418-7003

info@keaf-japan.com

歴史と文化、民族の悲劇と栄光

豊かな自然と美味しい料理

KEAF が支援する農村の子どもたち

▽料金 228,000 円 (2 人 1 室、1 人部屋追加 48,000 円)

▽日程 ☆出発: 2017 年 1 月 16 日 (月) 10:00 成田発ベトナム航空 VN311 便で出発、ハノイで乗り継ぎ VN835 便で 19:40 シエムレアップ着。2 泊ののちプノンペン、ホーチミンにそれぞれ 2 泊。☆帰国: ホーチミンから VN300 便の機中泊で 23 日 (月) 7:45 成田帰着の 8 日間。

▽訪問先 ☆シエムレアップ: アンコールワット、アンコールトムなどの遺跡群の観光と、伝統の宮廷ダンス鑑賞、水上民族の村の訪問など。ホテルはソカ・シエムレアップ。

☆プノンペン: 王宮、博物館、カンボジア戦取材中に亡くなった国際ジャーナリスト慰霊碑など。KEAF が支援するプレイヴェン州農村を訪ねて子どもや先生たちと交流。ホテルはカンボジアーナ。



ライ王坐像 (アンコール遺跡群の象のテラス)

☆ホーチミン: ベトナム戦争終結の舞台となった旧大統領官邸、戦争博物館、ドンコイ通りのショッピング。戦争中、米B52爆撃機のじゅうたん爆撃を耐え抜いたゲリラの地下トンネル基地や、メコンデルタのクルーズでタイソン島のミツバチ農園も訪問。

☆帰途: 22 日ホーチミンで夕食を済ませた後、23 日 (月) 0:40 発VN300 便で帰国へ。7:45 成田着。

(全日空の成田ープノンペン直行便が 9 月に開通、訪問先のオプションが広がり、滞空時間も短縮されると期待しました(会報 80 号)。しかしベトナム、カンボジア回遊便はベトナム航空しかなく、往復全日空便利用は割高になるので、前回ツアーを踏襲する旅程になりました)。